

日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 24 No. 2(通巻 61 号)

2013 年 2 月 14 日

～新理論研究会案内号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 関英昭
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 飯田橋レインボービル 5 階
J C 総研 (日本協同組合総合研究所) 協同組合研究部内 日本協同組合学会事務局
TEL: 03-6280-7254 FAX: 03-3268-8761
E-mail: kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp ホームページ: <http://coopstudies.jp>

■研究報告■

日英の社会的企業比較研究が始まります (2012 年～2016 年)

柳沢敏勝 (明治大学商学部)

日英の社会的企業に関する国際比較調査研究を目的として、2012 年 10 月に、明治大学特定課題研究ユニット「日英社会的企業比較研究センター」(研究代表者・中川雄一郎政治経済学部教授)を立ち上げました。今後 4 年にわたって、日英の研究者、実践家が、社会的企業や協同組合を中心としたサードセクター組織に関わる共同研究を実施する予定です。本研究では、社会的排除問題への取組みや、東日本震災等の被災地における雇用創出・地域コミュニティ再生などに対する社会的企業、サードセクターの役割と意義について比較研究することがテーマとなっています。日英の比較研究が第 1 の目的ですが、その他に 2 つの目的があります。社会的企業やサードセクターについてのアジアからの、特に日本からの研究成果の発信が弱すぎる点を克服すること、および大学院生をはじめとする若手研究者の研究の深化や研究交流の場を用意することです。この目的を達成するために複数言語による研究成果の出版や国際シンポジウムの開催を予定しています。この研究の底流には、労働市場からの退出を余儀なくされ、セーフティネットからもこぼれおちてしまうような社会のありようを協同の力で超えていきたいという共同研究員たちの想いがあります。

新

◇協同組合理論研究会

下記の通り、開催いたします。多くのご参加をお待ちしています。

学会の会員以外にもお知らせください。

テーマ: 「協同組合と生活意識に関するアンケート調査結果」からみる国民認知度と協同組合教育の展望 —いま、協同組合がアピールすべきことは何か?

日時: 3月9日(土) 14時～17時

会場: 明治大 研究棟 4階第一会議室

報告者: 大高研道 (聖学院大学)

座長: 柳沢敏勝 (明治大学商学部)

参加費: 1000 円

- ・JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 下車徒歩 3 分
- ・東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩 5 分
- ・都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩 5 分



◇第 32 回春季大会

第 32 回春季大会は、例年と異なり、首都圏ではなく福島県で開催します。次号で詳細をお知らせしますが、企画案（変更の場合あり）は下記の通りです。ぜひ、ご参加ください。

日本協同組合学会福島大会実行委員会：実行委員長 高瀬雅男 事務局長 小山良太

共催：北日本漁業経済学会

後援：東北農業経済学会、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター、福島大学協同組合ネットワーク研究所、地産地消ネットふくしま

協力：福島県生協連、JAグループ福島、福島大学

連絡先：〒960-1296 福島市金谷川1 福島大学経済経営学類 小山良太

TEL・FAX024-548-8387 携帯：090-2072-6152 koyama@econ.fukushima-u.ac.jp

日時：2013年5月18日（土）10：00-16：30

場所：杉妻会館（福島県庁隣 福島駅より徒歩10分 福島市杉妻町3-45）

懇親会：2013年5月18日（土）17：00-19：00 杉妻会館

エクスカージョン：2013年5月19日（日）

テーマ：原子力災害から農とくらしの復興を～食・エネルギーと協同組合間協同～

座長：濱田武士（東京海洋大学）

第1報告：福島原発事故から3年、福島県農業の再生の取り組み

長島俊一（福島県農業協同組合中央会）

第2報告：原発事故と漁業の再生—原子力政策と日本漁業—

二平章（北日本漁業経済学会・漁業情報サービスセンター）

第3報告：放射能汚染問題とくらし・生活の再建 熊谷純一（福島県生協連）

第4報告：地域エネルギーと協同組合 高橋巖（日本大学）

コメント：守友裕一（宇都宮大学）

開沼博（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター・地域復興部門）

大平佳男（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター・地域エネルギー担当）

◇2013年度学会賞（「学術賞」「奨励賞」「実践賞」及び伊東勇夫基金に基づく「学会誌賞」）の推薦をお願いします

推薦期間：2013年2月から2013年6月30日（土）までの5ヶ月間。

推薦対象

学術賞：本学会に5年以上継続して所属している会員。

2013年5月末までの3年5ヶ月間に刊行された著書、論文またはそれに準ずるもの。

奨励賞：本学会に3年以上継続して所属している40歳未満の会員。

2013年5月末までの3年5ヶ月間に刊行された著書、論文またはそれに準ずるもの。

学会誌賞：本学会会員で、本学会誌『協同組合研究』に論文を執筆した45歳未満の会員

実践賞：3年以内に刊行・発表された実践活動の記録がある者（団体）

推薦方法：2名以上の本会普通会員の連名による推薦を得る。選考対象の研究業績の現物、著者または著者代表者の業績一覧及び履歴書各1部を添えて推薦状を提出する。

推薦する場合には、学会事務局（JC総研）に連絡のうえ、所定の推薦書様式を入手して下さい。

◇会費納入のお願い

2012年度の会費納入をお願いいたします。2011年度の会費が未納の方もいらっしゃいます。学会運営へのご協力をお願いいたします。会費は年6,000円（学生会員は3,000円）です。

郵便振替 加入者名：日本協同組合学会 口座番号：00140-5-557520
農林中央金庫 本店（958）日本協同組合学会 口座番号：NO. 5026910